

決算補足説明資料 2012年度 決算

2013年5月8日
田辺三菱製薬株式会社
証券コード: 4508



本資料に関するお問い合わせ
広報部 TEL 06-6205-5211
FAX 06-6205-5105

目次

1	2012年度 決算の概要	
	1. 2012年度 業績サマリー 2. 2013年度 業績予想サマリー 3. 配当金	2
2	2012年度 連結決算について	
	1. 損益状況	3
	① 損益実績 ② 事業別売上高 ③ 売上原価／販売費及び一般管理費	3
	④ 営業外損益 ⑤ 特別損益 ⑥ 法人税等	4
	⑦ 主要製品売上高	5
	2. 財務状況	6
	① 資産・負債・純資産の状況	6
	② キャッシュ・フロー計算書	7
	③ 設備投資／情報システム開発投資 ④ 減価償却費	8
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数	8
3	2013年度 業績予想について	
	① 損益予想 ② 事業別売上高予想 ③ 売上原価／販売費及び一般管理費予想	9
	④ 主要製品売上高予想	10
	⑤ 設備投資／情報システム開発投資予想 ⑥ 減価償却費予想	11
4	5か年連結財務数値	
	① 損益計算書 ② 貸借対照表 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	12
5	四半期業績の推移	
	① 損益計算書	13
	② 主要製品売上高	14
6	新製品開発状況について(2013年5月8日現在)	
	1. 国内開発状況	15
	① 新規化合物 ② 効能追加	15
	2. 海外開発状況	16
	① 新規化合物	16
	3. 導出品の開発状況	17
	4. 2012年度第3四半期決算発表時点(2013年2月1日)からの変更点	18
	① 自社開発品 ② 導出品	18
	5. 新製品開発状況補足資料(2013年5月8日現在)	19
	① 国内 新規化合物 ② 国内 効能追加	19
	③ 海外 新規化合物 ④ 導出品	20
7	その他	
	1. 関係会社	21
	① 関係会社数 ② 連結子会社一覧 ③ 持分法適用関連会社一覧	21
	2. 株式の状況	22
	① 発行済株式数 ② 大株主の状況 ③ 所有者別株式数分布状況	22
	④ 配当金／株価推移	22
参考	主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース	23

1 2012年度 決算の概要

(億円未満四捨五入)

1. 2012年度 業績サマリー

売上高	4,192 億円	前期比	120 億円	3.0 %
○医薬品事業	4,147 億円	前期比	171 億円	4.3 %
○その他	45 億円	前期比	△ 51 億円	△ 53.2 %

「医薬品事業」は、前期比+4.3%、171億円増収の4,147億円となりました。

国内医療用医薬品は、昨年4月の薬価改定や後発品の影響拡大などがありました。抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード」などが引き続き順調に推移したことに加え、前期から今期にかけて発売した新製品も寄与しました。これらの結果、前期比0.3%増収の3,566億円となりました。

海外医療用医薬品は前期比26.7%増収の234億円、一般用医薬品は前期比2.1%減収の53億円となりました。

医薬品その他は、ノバルティスに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入の増加などにより、前期比61.3%増収の295億円となりました。

「その他」は、昨年7月にファインケミカル事業を譲渡した影響などにより前期比△53.2%、51億円の減収となりました。

◎各事業の主たる製品及び役務の内容

医薬品事業：医療用医薬品、一般用医薬品

その他：化成品、不動産賃貸業、情報サービス、宣伝製作物等

営業利益	690 億円	前期比	△ 1 億円	△ 0.1 %
------	--------	-----	--------	---------

営業利益はほぼ前期並みの690億円となりました。

売上高は120億円の増収となりましたが、薬価改定の影響などから売上総利益は前期比21億円減益の2,528億円となりました。なお、売上原価率は前期比2.3ポイント悪化しております。

販売費及び一般管理費は、研究開発費が減少したことなどから前期比20億円減少し、1,838億円となりました。

経常利益	694 億円	前期比	6 億円	0.9 %
------	--------	-----	------	-------

当期純利益	419 億円	前期比	29 億円	7.4 %
-------	--------	-----	-------	-------

経常利益は前期比+0.9%、6億円増益の694億円、当期純利益は前期比+7.4%、29億円増益の419億円となりました。

固定資産売却益など特別利益が42億円発生しました。なお、前期にも固定資産売却益など12億円の特別利益を計上しております。

血漿分画事業の事業統合関連損失23億円、HCV訴訟損失引当金繰入額20億円など59億円の特別損失が発生しました。なお、前期には減損損失33億円、投資有価証券評価損22億円など61億円の特別損失を計上しております。この結果、特別損益は33億円改善しています。

2. 2013年度 業績予想サマリー

売上高	4,170 億円	前期比	△ 22 億円	△ 0.5 %
営業利益	700 億円	前期比	10 億円	1.5 %
経常利益	715 億円	前期比	21 億円	3.0 %
当期純利益	440 億円	前期比	21 億円	5.0 %

3. 配当金

	2013年度予想		2012年度	
	上期末	年間(予想)	上期末	年間
1株当たり配当金(円)	20	40	20	40
配当性向 (のれん償却前)	- (-)	51.0% (41.5%)	- (-)	53.6% (43.2%)

1. 損益状況

① 損益実績

(単位:億円)

	2012年度	前期比較			予想比較		
		2011年度	増減額	増減率%	予想(注)	増減額	増減率%
売上高	4,192	4,072	120	3.0	4,250	△ 58	△ 1.4
売上原価	1,664	1,523	141	9.3	1,670	△ 6	△ 0.4
売上原価率	39.7%	37.4%			39.3%		
売上総利益	2,528	2,549	△ 21	△ 0.8	2,580	△ 52	△ 2.0
販管費	1,838	1,858	△ 20	△ 1.1	1,880	△ 42	△ 2.2
販管費比率	43.9%	45.6%			44.2%		
営業利益	690	690	△ 1	△ 0.1	700	△ 10	△ 1.5
経常利益	694	688	6	0.9	710	△ 16	△ 2.3
特別損益	△ 17	△ 50	33	-	△ 50	33	-
当期純利益	419	390	29	7.4	405	14	3.4

② 事業別売上高

(単位:億円)

	2012年度	前期比較			予想比較			主なポイント(前期比較)
		2011年度	増減額	増減率%	予想(注)	増減額	増減率%	
医薬品事業	4,147	3,976	171	4.3	4,205	△ 58	△ 1.4	国内医療用医薬品 +11億円 海外医療用医薬品 +49億円 製造受託品 △19億円 技術導出契約金等 +131億円 詳細は5ページ、主要製品売上高を参照
構成比	98.9%	97.6%			98.9%			
国内	3,691	3,719	△ 28	△ 0.7	3,820	△ 129	△ 3.4	
海外	456	257	199	77.5	385	71	18.5	
その他	45	96	△ 51	△ 53.2	45	0	△ 0.2	ファイナケミカル事業譲渡による減収
構成比	1.1%	2.4%			1.1%			
国内	24	70	△ 46	△ 66.1	20	4	18.2	
海外	21	26	△ 5	△ 19.1	25	△ 4	△ 14.8	
売上高合計	4,192	4,072	120	3.0	4,250	△ 58	△ 1.4	海外売上高比率 2011年度:7.0% 2012年度:11.4% 平均為替レート 2011年度:1US\$ = 79.63円 2012年度:1US\$ = 82.61円
構成比	100.0%	100.0%			100.0%			
国内	3,714	3,788	△ 74	△ 1.9	3,840	△ 126	△ 3.3	
海外	477	283	194	68.5	410	67	16.4	

③ 売上原価/販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	2012年度	前期比較			予想比較			主なポイント(前期比較)
		2011年度	増減額	増減率%	予想(注)	増減額	増減率%	
売上原価	1,664	1,523	141	9.3	1,670	△ 6	△ 0.4	薬価改定による売上原価率上昇など
比率	39.7%	37.4%			39.3%			
販管費	1,838	1,858	△ 20	△ 1.1	1,880	△ 42	△ 2.2	導入一時金の減少など
比率	43.9%	45.6%			44.2%			
研究開発費	665	702	△ 37	△ 5.3	700	△ 35	△ 5.0	
比率	15.9%	17.3%			16.5%			
研究開発費以外	1,173	1,156	17	1.5	1,180	△ 7	△ 0.6	
人件費	519	520	△ 1	△ 0.1	515	4	0.8	
のれん償却額	103	101	2	1.6	102	1	0.9	販売権償却費の増加など
その他	551	535	16	3.0	563	△ 12	△ 2.1	
総人件費	900	888	12	1.4	890	10	1.2	

(注) 2012年10月29日 2012年度第2四半期決算発表時に公表した予想数値

④ 営業外損益

(単位:億円)

	2012年度	2011年度	増減額	主なポイント
営業外収益	45	35	10	
受取利息	17	16	1	
受取配当金	8	8	0	
持分法による投資利益	4	2	2	
受取賃貸料	3	2	1	
その他	13	7	6	
営業外費用	41	38	3	
為替差損	11	15	△ 4	
出向者労務費差額	5	-	5	
寄付金	5	4	1	
固定資産除却損	4	4	0	
その他	15	15	1	

⑤ 特別損益

(単位:億円)

	2012年度	2011年度	増減額	主なポイント
特別利益	42	12	31	
固定資産売却益	30	7	22	当期)三番町ビルほか
投資有価証券売却益	9	-	9	
事業譲渡益	4	-	4	ファインケミカル事業譲渡益
災害損失引当金戻入額	-	5	△ 5	
特別損失	59	61	△ 2	
事業統合関連損失	23	-	23	血漿分画事業統合に伴う損失
HCV訴訟損失引当金繰入額	20	-	20	特措法延長による追加繰入れ
減損損失	8	33	△ 26	当期)枚方研究所、名張第二研修所ほか 前期)三番町ビルほか
投資有価証券売却損	4	-	4	長生堂製薬
投資有価証券評価損	3	22	△ 19	
特別退職金	-	1	△ 1	
災害による損失	-	1	△ 1	
その他	3	4	△ 1	

⑥ 法人税等

(単位:億円)

	2012年度	2011年度	増減額	主なポイント
税金等調整前当期純利益	677	638	39	法定実効税率 調整)
法人税、住民税 及び事業税	269	200	69	2012年度 37.9% 2011年度 40.6%
法人税等調整額	△ 12	45	△ 57	交際費等永久に損金に算入されない項目 1.4% 2.8% 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 △1.7% △1.9% 住民税均等割 0.3% 0.2% 試験研究費の特別控除 △5.3% △9.2% のれん償却額 5.7% 6.4% 受取配当金連結消去に伴う影響額 1.5% 1.6% 評価性引当額の増減 △2.0% △0.2% 税率変更による期末繰延税金資産の修正 - △1.3% その他 0.2% △0.5%
少数株主損益	1	2	△ 2	税効果会計適用後の法人税等の負担率 38.0% 38.5%
当期純利益	419	390	29	

⑦ 主要製品売上高

(単位:億円)

	2012年度	前期比較			予想比較		
		2011年度	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
医療用医薬品	4,094	3,922	172	4.4	4,150	△ 56	△ 1.3
国内医療用医薬品	3,566	3,554	11	0.3	3,690	△ 124	△ 3.4
レミケード	735	663	72	10.8	750	△ 15	△ 2.0
セレジスト	184	180	4	2.3	190	△ 6	△ 3.1
タリオン	143	133	10	7.3	150	△ 7	△ 4.5
メインテート	141	137	4	3.1	150	△ 9	△ 5.9
ラジカット	133	225	△ 92	△ 41.0	140	△ 7	△ 5.2
アンブラーグ	130	153	△ 23	△ 15.0	135	△ 5	△ 4.0
ウルソ	133	145	△ 12	△ 8.2	135	△ 2	△ 1.5
クレメジン	122	117	5	4.5	125	△ 3	△ 2.5
ヴェノグロブリンH	110	107	3	2.6	115	△ 5	△ 4.6
デパス	104	110	△ 6	△ 5.8	105	△ 1	△ 1.3
テラビック	51	15	37	245.9	85	△ 34	△ 39.5
ヘルベッサー	76	87	△ 10	△ 11.9	75	1	1.6
タナトリル	71	83	△ 12	△ 14.7	70	1	1.6
レクサプロ	46	13	33	262.3	55	△ 10	△ 17.3
シンポニー	53	10	43	453.6	70	△ 17	△ 24.6
リプル	51	62	△ 11	△ 18.0	50	1	1.8
ノイアート	44	54	△ 9	△ 17.7	45	△ 1	△ 1.8
ワクチン	288	288	0	△ 0.1	295	△ 7	△ 2.4
ミールビック	80	95	△ 15	△ 15.9	80	0	0.3
インフルエンザ	77	90	△ 14	△ 15.1	85	△ 8	△ 9.8
ジェービックV	48	71	△ 24	△ 33.0	60	△ 12	△ 20.3
田辺製薬販売取扱品(注2)	190	175	15	8.5	190	0	△ 0.2
海外医療用医薬品(注3)	234	185	49	26.7	235	△ 1	△ 0.5
ヘルベッサー	59	49	11	22.1	60	△ 1	△ 0.9
アルガトロバン(ノバスタン)	29	31	△ 2	△ 6.4	25	4	15.2
タナトリル	21	17	4	20.5	20	1	2.8
ワクチン	18	16	2	13.5	20	△ 2	△ 10.3
製造受託品(注4)	68	87	△ 19	△ 21.7	70	△ 2	△ 3.0
技術導出契約金等	227	96	131	136.2	155	72	46.3
ジレニア ロイヤリティ	195	56	139	246.3	-	-	-
一般用医薬品	53	54	△ 1	△ 2.1	55	△ 2	△ 3.9
医薬品事業合計	4,147	3,976	171	4.3	4,205	△ 58	△ 1.4

(注1) 2012年10月29日 2012年度第2四半期決算発表時に公表した予想数値

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注3) 2012年度より海外子会社の決算期を12月末から3月末に変更したため、2012年度は2012年1月から2013年3月までの15カ月決算となっております。

(注4) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

① 資産・負債・純資産の状況

(単位:億円)

	2012年度末	構成比%	2011年度末	増減額	主なポイント
総資産	8,668	100.0	8,199	468	
流動資産	4,767	55.0	4,197	570	
現金及び預金	203	2.3	155	48	P7「② キャッシュ・フロー計算書」参照
有価証券	640	7.4	463	176	譲渡性預金、社債の増加など
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	1,299 (3.72)	15.0	1,272 (3.75)	27 (△ 0.03)	
たな卸資産	928	10.7	862	66	主にレミケード、ワクチンなど製商品の増加
預け金	1,516	17.5	1,308	208	
繰延税金資産	84	1.0	93	△ 10	
その他	98	1.1	43	55	
固定資産	3,901	45.0	4,003	△ 102	
有形固定資産	923	10.6	1,039	△ 116	設備投資 +92億円、減価償却 △73億円、 血漿分画事業統合による減少 △63億円ほか
無形固定資産	1,042	12.0	1,094	△ 52	情報システム開発投資 +22億円、 バイファ株式取得に伴うのれん計上・償却 +41億円 合併時のれん償却 △100億円、 減価償却 △11億円
投資有価証券	1,210	14.0	1,166	44	時価評価による増加、社債の増加、国債の減少、 長生堂製薬株式譲渡による減少など
長期前払費用	102	1.2	144	△ 41	
前払年金費用	369	4.3	421	△ 52	
繰延税金資産	42	0.5	79	△ 37	
その他	214	2.5	60	154	
負債	1,139	13.1	984	154	
流動負債	861	9.9	696	165	
仕入債務(注2)	381	4.4	289	92	レミケード、血漿分画製剤、ワクチンなどの債務増加
短期借入金	12	0.1	22	△ 10	
未払金	156	1.8	157	△ 1	
未払法人税等	162	1.9	67	95	
その他	151	1.7	161	△ 10	
固定負債	277	3.2	289	△ 11	
繰延税金負債	84	1.0	93	△ 10	
退職給付引当金	94	1.1	106	△ 11	
HIV訴訟健康管理手当等引当金	16	0.2	15	2	
スモン訴訟健康管理手当等引当金	32	0.4	36	△ 5	支払いに伴う取り崩しなど
HCV訴訟損失引当金	36	0.4	25	11	特措法の延長に伴う繰入れ、支払いに伴う取り崩し
その他	15	0.2	13	2	
純資産	7,529	86.9	7,215	314	
株主資本	7,443	85.9	7,249	195	
資本金	500	5.8	500	-	
資本剰余金	4,512	52.1	4,512	-	
利益剰余金	2,436	28.1	2,242	195	当期純利益 +419億円、 配当金支払い △224億円
自己株式	△ 5	△ 0.1	△ 5	0	
その他の包括利益累計額	36	0.4	△ 91	127	
その他有価証券評価差額金	72	0.8	△ 1	73	
繰延ヘッジ損益	16	0.2	1	15	
為替換算調整勘定	△ 52	△ 0.6	△ 91	39	
少数株主持分	50	0.6	57	△ 7	

(注1) 売上債権＝受取手形＋売掛金 (注2) 仕入債務＝支払手形(除く営業外支払手形)＋買掛金

② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2012年度	2011年度	増減額
現金・現金同等物期首残高	543	979	△ 435
営業キャッシュ・フロー	606	372	233
税金等調整前当期純利益	677	638	39
減価償却費	84	125	△ 40
減損損失	8	33	△ 26
のれん償却額	103	101	2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 12	△ 13	1
前払年金費用の増減額(△は増加)	52	△ 17	69
HCV訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	11	△ 21	32
災害損失引当金の増減額(△は減少)	0	△ 15	15
受取利息及び受取配当金	△ 25	△ 24	△ 1
事業譲渡損益(△は益)	△ 4	-	△ 4
投資有価証券評価損益(△は益)	3	22	△ 19
事業統合関連損失	23	-	23
売上債権の増減額(△は増加)	△ 19	10	△ 29
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 177	△ 86	△ 91
仕入債務の増減額(△は減少)	86	△ 6	91
未払金の増減額(△は減少)	△ 7	△ 21	14
利息及び配当金の受取額	27	25	2
法人税等の支払額	△ 179	△ 284	105
その他	△ 45	△ 96	52
投資キャッシュ・フロー	△ 350	△ 632	283
有価証券の取得・売却等	△ 93	432	△ 525
定期預金の預入・払戻	4	93	△ 89
預け金の預入による支出	△ 207	△ 1,108	900
長期預金の預入・払戻	19	△ 4	23
有形固定資産の取得・売却	15	△ 73	88
無形固定資産の取得による支出	△ 21	△ 12	△ 9
投資有価証券の取得・売却等	△ 5	40	△ 46
子会社株式の取得による支出	△ 60	-	△ 60
事業譲渡による収入	14	-	14
その他	△ 13	0	△ 13
財務キャッシュ・フロー	△ 237	△ 172	△ 65
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 12	△ 7	△ 5
配当金の支払額	△ 224	△ 163	△ 62
その他	0	△ 2	1
現金・現金同等物に係る換算差額	25	△ 4	29
現金・現金同等物の増減額(△は減少)	44	△ 435	479
現金・現金同等物期末残高	587	543	44

* 現金・現金同等物の期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係(単位:億円)

	2012年度	2011年度
現金及び預金	203	155
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	△ 24	△ 25
取得日から3ヵ月以内に償還期限が到来する有価証券	206	212
短期貸付金(注)に含まれる現金同等物	2	1
預け金に含まれる現金同等物	201	200
現金・現金同等物	587	543

(注)短期貸付金は、連結貸借対照表(6ページ)上は流動資産その他に含めております。

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2012年度	2011年度	増減額
設備投資額／発生ベース	92	71	22
システム投資額／発生ベース	22	12	9

2012年度の主な設備投資		2012年度の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	50億円	田辺三菱製薬	20億円
(加島パイロットプラント増強)	(7億円)		
田辺三菱製薬工場	25億円		

④ 減価償却費

(単位:億円)

	2012年度	2011年度	増減額
有形固定資産	73	114	△ 41
無形固定資産	11	10	1

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

会社名	田辺三菱製薬工場	田辺製薬販売	ミツビシ タナベファーマ コリア(注)	三菱製薬(広州)(注)	天津田辺製薬(注)	タナベ インドネシア(注)	
売上高	2012年度	524	190	42	12	34	24
	2011年度	549	175	37	1	21	19
営業利益	2012年度	22	10	3	△ 10	1	3
	2011年度	32	12	2	△ 9	0	4
経常利益	2012年度	19	10	4	△ 10	1	3
	2011年度	34	12	2	△ 10	1	4
当期純利益	2012年度	13	5	3	△ 10	1	1
	2011年度	19	11	2	△ 10	0	3
研究開発費	2012年度	11	-	-	0	-	0
	2011年度	9	-	-	0	0	-
有形固定資産減価償却費	2012年度	20	0	1	1	1	1
	2011年度	36	0	1	1	1	1
総資産	2012年度末	637	85	27	47	24	21
	2011年度末	584	74	22	30	18	19
純資産	2012年度末	397	5	21	26	18	15
	2011年度末	394	0	15	22	14	13
従業員数(人)	2012年度末	1,369	164	122	444	430	455
	2011年度末	1,238	166	125	425	392	424

(注) 海外子会社については、2012年度より決算期を12月末から3月末に変更したため、2012年度は2012年1月から2013年3月までの15カ月決算となっております。ただし、中国では法定決算日は12月末となっております。決算期を変更できないため、中国の子会社である三菱製薬(広州)、天津田辺製薬については仮決算を実施し、決算期変更に対応しております。

3 2013年度 業績予想について

(億円未満四捨五入)

① 損益予想

(単位:億円)

	2013年度 上期予想	2012年度 上期実績	増減額	増減率%	2013年度 通期予想	2012年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上高	2,000	2,038	△ 38	△ 1.9	4,170	4,192	△ 22	△ 0.5	
売上原価	780	793	△ 13	△ 1.6	1,630	1,664	△ 34	△ 2.0	
売上原価率	39.0%	38.9%			39.1%	39.7%			
売上総利益	1,220	1,246	△ 26	△ 2.1	2,540	2,528	12	0.5	
販管費	920	923	△ 3	△ 0.3	1,840	1,838	2	0.1	
販管費比率	46.0%	45.3%			44.1%	43.9%			
営業利益	300	322	△ 22	△ 7.0	700	690	10	1.5	
経常利益	310	331	△ 21	△ 6.4	715	694	21	3.0	
特別損益	△ 10	△ 24	14	-	△ 25	△ 17	△ 8	-	
当期純利益	190	195	△ 5	△ 2.5	440	419	21	5.0	

② 事業別売上高予想

(単位:億円)

	2013年度 上期予想	2012年度 上期実績	増減額	増減率%	2013年度 通期予想	2012年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
医薬品事業	1,993	2,007	△ 14	△ 0.7	4,157	4,147	10	0.2	
構成比	99.7%	98.5%			99.7%	98.9%			
国内	1,757	1,834	△ 77	△ 4.2	3,656	3,691	△ 35	△ 0.9	
海外	236	174	62	35.8	501	456	45	9.9	
その他	7	31	△ 24	△ 77.4	13	45	△ 32	△ 71.1	
構成比	0.4%	1.5%			0.3%	1.1%			
国内	2	20	△ 18	△ 90.2	5	24	△ 19	△ 78.8	
海外	5	11	△ 6	△ 52.7	8	21	△ 13	△ 62.4	
売上高合計	2,000	2,038	△ 38	△ 1.9	4,170	4,192	△ 22	△ 0.5	海外売上高比率 2012年度:11.4% 2013年度予想:12.2%
構成比	100.0%	100.0%			100.0%	100.0%			
国内	1,759	1,854	△ 95	△ 5.1	3,661	3,714	△ 53	△ 1.4	計画為替レート 1US\$ = 95円
海外	241	184	57	30.7	509	477	32	6.6	

③ 売上原価/販売費及び一般管理費予想

(単位:億円)

	2013年度 上期予想	2012年度 上期実績	増減額	増減率%	2013年度 通期予想	2012年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上原価	780	793	△ 13	△ 1.6	1,630	1,664	△ 34	△ 2.0	
比率	39.0%	38.9%			39.1%	39.7%			
販管費	920	923	△ 3	△ 0.3	1,840	1,838	2	0.1	
比率	46.0%	45.3%			44.1%	43.9%			
研究開発費	354	342	12	3.4	705	665	40	6.0	
比率	17.7%	16.8%			16.9%	15.9%			
研究開発費以外	566	581	△ 15	△ 2.6	1,135	1,173	△ 38	△ 3.2	
人件費	238	260	△ 22	△ 8.3	479	519	△ 40	△ 7.7	
のれん償却額	52	51	1	2.7	104	103	1	1.0	
その他	276	271	5	2.0	552	551	1	0.2	
総人件費	416	451	△ 35	△ 7.7	835	900	△ 65	△ 7.3	

④ 主要製品売上高予想

(単位:億円)

	2013年度 上期予想	2012年度 上期実績	増減額	増減率%	2013年度 通期予想	2012年度 通期実績	増減額	増減率%
医療用医薬品	1,966	1,979	△ 13	△ 0.7	4,105	4,094	11	0.3
国内医療用医薬品	1,697	1,766	△ 69	△ 3.9	3,545	3,566	△ 21	△ 0.6
レミケード	386	367	19	5.1	786	735	51	6.9
セレジスト	90	95	△ 5	△ 5.5	182	184	△ 2	△ 1.1
メインテート	75	70	5	7.6	158	141	17	11.9
タリオン	54	53	1	2.4	157	143	14	9.6
クレメジン	63	60	3	4.9	131	122	9	7.5
ウルソ	59	68	△ 9	△ 12.7	121	133	△ 12	△ 9.0
ヴェノグロブリンH	57	55	2	2.8	117	110	7	6.6
アンブラーグ	59	68	△ 9	△ 13.3	116	130	△ 14	△ 10.5
ラジカット	50	70	△ 20	△ 28.3	98	133	△ 35	△ 26.2
デバス	47	53	△ 6	△ 11.2	95	104	△ 9	△ 8.3
シンボニー	41	22	19	84.1	92	53	39	74.4
レクサプロ	33	17	16	98.4	83	46	38	82.4
ヘルベッサー	36	39	△ 3	△ 8.0	70	76	△ 6	△ 8.2
タナトリル	33	37	△ 4	△ 10.7	63	71	△ 8	△ 11.4
ワクチン	127	126	1	0.6	279	288	△ 9	△ 3.1
テトラビック	43	-	43	-	90	45	45	98.6
インフルエンザ	14	15	△ 1	△ 8.8	81	77	4	5.7
田辺製薬販売取扱品(注1)	67	91	△ 24	△ 26.2	140	190	△ 50	△ 26.2
海外医療用医薬品(注2)	109	102	7	7.3	211	234	△ 23	△ 9.8
ヘルベッサー	24	23	1	4.3	49	59	△ 10	△ 17.6
アルガトロバン(ノバスタン)	9	14	△ 5	△ 35.3	18	29	△ 11	△ 37.5
タナトリル	9	9	0	4.0	17	21	△ 4	△ 17.3
製造受託品(注3)	30	38	△ 8	△ 20.5	56	68	△ 12	△ 17.5
技術導出契約金等	130	74	56	76.3	293	227	66	29.3
一般用医薬品	27	28	△ 1	△ 3.8	52	53	△ 1	△ 1.7
医薬品事業合計	1,993	2,007	△ 14	△ 0.7	4,157	4,147	10	0.2

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注2) 2012年度より海外子会社の決算期を12月末から3月末に変更したため、2012年度は2012年1月から2013年3月までの15カ月決算となっております。

(注3) 他社製品の製造受託品等

⑤ 設備投資／情報システム開発投資予想

(単位:億円)

	2013年度 上期予想	2012年度 上期実績	増減額	増減率%	2013年度 通期予想	2012年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	85	42	43	100.2	137	92	45	48.1
システム投資額／発生ベース	16	10	6	53.4	28	22	6	28.7

2013年度の主な設備投資予定		2013年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	78億円	研究開発関係システム	10億円
研究開発関係設備	35億円	生産関係システム	1億円
その他	24億円	その他	17億円

⑥ 減価償却費予想

(単位:億円)

	2013年度 上期予想	2012年度 上期実績	増減額	増減率%	2013年度 通期予想	2012年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産	39	38	1	3.1	81	73	8	10.7
無形固定資産	6	6	0	3.4	13	11	2	16.1

4 5ヵ年連結財務数値

(億円未満四捨五入)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度予想
売上高	4,148	4,047	4,095	4,072	4,192	4,170
売上原価	1,582	1,478	1,546	1,523	1,664	1,630
売上総利益	2,566	2,569	2,550	2,549	2,528	2,540
販管費	1,849	1,955	1,784	1,858	1,838	1,840
研究開発費	731	831	658	702	665	705
営業利益	717	615	766	690	690	700
経常利益	726	616	767	688	694	715
特別利益	12	1	6	12	42	△ 25
特別損失	258	108	132	61	59	
当期純利益	265	303	377	390	419	440

② 貸借対照表

(単位:億円)

	2008年度末	2009年度末	2010年度末	2011年度末	2012年度末
総資産	8,108	7,969	8,187	8,199	8,668
流動資産	3,644	3,442	3,916	4,197	4,767
固定資産	4,463	4,526	4,271	4,003	3,901
負債	1,445	1,200	1,227	984	1,139
流動負債	892	778	877	696	861
固定負債	554	423	350	289	277
純資産	6,662	6,768	6,960	7,215	7,529

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度予想
営業キャッシュ・フロー	505	239	591	372	606	-
投資キャッシュ・フロー	△ 745	△ 612	△ 77	△ 632	△ 350	-
財務キャッシュ・フロー	△ 160	△ 171	△ 154	△ 172	△ 237	-
設備投資	122	84	102	71	92	137
情報システム開発投資	17	8	8	12	22	28
減価償却費	157	133	124	125	84	94
自己資本比率(%)	80.5	84.1	84.3	87.3	86.3	-
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	4.1	4.6	5.5	5.5	5.7	-
1株当たり当期純利益(円)	47.28	53.91	67.27	69.54	74.67	78.43
1株当たり純資産(円)	1,162.69	1,194.79	1,230.16	1,275.85	1,333.22	-

④ 従業員数

(単位:人)

	2008年度末	2009年度末	2010年度末	2011年度末	2012年度末	2013年度末予想
連結	10,030	9,266	9,198	9,180	8,835	9,110
単体	5,715	5,186	4,957	4,826	4,850	4,850

5 四半期業績の推移

(億円未満四捨五入)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2011年度					2012年度					2013年度
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	通期予想
売上高	1,023 25.1%	981 24.1%	1,154 28.3%	914 22.5%	4,072 100.0%	1,044 24.9%	994 23.7%	1,187 28.3%	966 23.0%	4,192 100.0%	4,170
国内	957 25.3%	915 24.1%	1,080 28.5%	836 22.1%	3,788 100.0%	956 25.7%	898 24.2%	1,052 28.3%	808 21.8%	3,714 100.0%	3,661
海外	66 23.1%	66 23.5%	74 25.9%	78 27.5%	283 100.0%	88 18.4%	96 20.2%	135 28.3%	158 33.1%	477 100.0%	509
医薬品事業	998 25.1%	957 24.1%	1,129 28.4%	892 22.4%	3,976 100.0%	1,019 24.6%	988 23.8%	1,182 28.5%	958 23.1%	4,147 100.0%	4,157
国内	937 25.2%	898 24.2%	1,062 28.6%	821 22.1%	3,719 100.0%	937 25.4%	897 24.3%	1,051 28.5%	807 21.9%	3,691 100.0%	3,656
海外	60 23.4%	58 22.7%	67 26.0%	72 27.8%	257 100.0%	82 18.0%	92 20.1%	131 28.8%	151 33.1%	456 100.0%	501
その他	25 26.1%	24 25.4%	25 25.7%	22 22.8%	96 100.0%	25 54.9%	6 13.9%	6 12.5%	8 18.7%	45 100.0%	13
国内	20 28.3%	16 23.4%	18 26.0%	16 22.4%	70 100.0%	19 80.4%	1 5.8%	2 7.3%	2 6.6%	24 100.0%	5
海外	5 20.3%	8 30.9%	7 24.9%	6 23.9%	26 100.0%	6 26.7%	5 23.0%	4 18.2%	7 32.2%	21 100.0%	8
売上原価	374	371	449	330	1,523	406	386	475	397	1,664	1,630
売上原価率	36.5%	37.8%	38.9%	36.1%	37.4%	38.9%	38.8%	40.0%	41.0%	39.7%	39.1%
売上総利益	649 25.5%	610 23.9%	705 27.7%	585 22.9%	2,549 100.0%	637 25.2%	608 24.1%	713 28.2%	570 22.5%	2,528 100.0%	2,540
販売費及び 一般管理費	422 22.7%	477 25.7%	466 25.1%	493 26.6%	1,858 100.0%	449 24.4%	474 25.8%	447 24.3%	468 25.5%	1,838 100.0%	1,840
研究開発費	157 22.4%	178 25.4%	181 25.7%	186 26.5%	702 100.0%	169 25.4%	173 26.0%	170 25.5%	153 23.0%	665 100.0%	705
研究開発費 以外	264 22.9%	299 25.9%	286 24.7%	307 26.6%	1,156 100.0%	280 23.9%	301 25.7%	277 23.6%	315 26.9%	1,173 100.0%	1,135
人件費	126 24.3%	133 25.6%	129 24.9%	131 25.2%	520 100.0%	129 24.9%	130 25.1%	125 24.0%	135 25.9%	519 100.0%	479
のれん 償却額	25 25.0%	25 25.0%	25 25.0%	25 25.0%	101 100.0%	25 24.6%	25 24.6%	26 25.5%	26 25.3%	103 100.0%	104
その他	113 21.1%	141 26.3%	131 24.5%	151 28.2%	535 100.0%	125 22.8%	145 26.3%	126 22.8%	155 28.1%	551 100.0%	552
営業利益	227 32.9%	133 19.3%	239 34.6%	91 13.2%	690 100.0%	188 27.3%	134 19.4%	266 38.6%	101 14.7%	690 100.0%	700
経常利益	230 33.4%	134 19.5%	240 34.9%	84 12.2%	688 100.0%	196 28.3%	135 19.4%	270 38.9%	93 13.3%	694 100.0%	715
四半期(当期) 純利益	114 29.3%	85 21.9%	159 40.7%	32 8.1%	390 100.0%	108 25.8%	87 20.7%	158 37.6%	66 15.9%	419 100.0%	440

(注)各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

② 主要製品売上高

(単位:億円)

	2011年度					2012年度					2013年度
	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	通期予想
医療用医薬品	983 25.1%	942 24.0%	1,114 28.4%	882 22.5%	3,922 100.0%	1,006 24.6%	974 23.8%	1,167 28.5%	948 23.1%	4,094 100.0%	4,105
国内医療用医薬品	898 25.3%	859 24.2%	1,029 28.9%	768 21.6%	3,554 100.0%	905 25.4%	861 24.1%	1,020 28.6%	780 21.9%	3,566 100.0%	3,545
レミケード	158 23.9%	162 24.5%	189 28.5%	153 23.1%	663 100.0%	179 24.4%	188 25.6%	198 27.0%	170 23.1%	735 100.0%	786
セレジスト	47 25.9%	43 23.7%	51 28.4%	40 22.0%	180 100.0%	50 27.2%	45 24.6%	50 27.0%	39 21.3%	184 100.0%	182
タリオン	31 22.9%	23 16.9%	39 29.3%	41 30.9%	133 100.0%	31 21.3%	22 15.5%	37 25.8%	53 37.3%	143 100.0%	157
メインテート	34 24.9%	32 23.3%	41 29.6%	31 22.3%	137 100.0%	36 25.8%	33 23.6%	40 28.1%	32 22.6%	141 100.0%	158
ラジカット	67 29.9%	61 26.9%	59 26.4%	38 16.7%	225 100.0%	37 28.0%	33 24.6%	37 27.7%	26 19.8%	133 100.0%	98
アンブラーグ	41 26.8%	36 23.7%	45 29.4%	31 20.1%	153 100.0%	37 28.3%	31 24.3%	35 27.0%	27 20.5%	130 100.0%	116
ウルソ	38 26.2%	34 23.6%	42 28.9%	31 21.3%	145 100.0%	35 26.3%	33 24.6%	37 27.6%	29 21.6%	133 100.0%	121
クレメジン	28 24.4%	33 28.6%	29 24.8%	26 22.1%	117 100.0%	31 25.7%	29 23.6%	35 28.7%	27 22.0%	122 100.0%	131
ヴェノグロプリンH	25 23.3%	26 23.8%	33 30.6%	24 22.2%	107 100.0%	29 26.1%	27 24.4%	32 29.2%	22 20.3%	110 100.0%	117
デバス	28 25.5%	26 24.0%	31 28.3%	24 22.2%	110 100.0%	28 26.7%	25 24.4%	28 27.4%	22 21.5%	104 100.0%	95
テラビック	-	-	2 12.0%	13 88.0%	15 100.0%	21 41.8%	13 25.7%	10 20.0%	6 12.6%	51 100.0%	40
ヘルベッサー	23 27.0%	20 23.6%	25 28.8%	18 20.6%	87 100.0%	21 27.7%	18 23.7%	21 27.9%	16 20.8%	76 100.0%	70
タナトリル	23 27.3%	20 24.0%	24 28.6%	17 20.1%	83 100.0%	20 27.7%	17 24.3%	20 27.6%	15 20.5%	71 100.0%	63
レクサプロ	-	4 34.9%	4 28.0%	5 37.1%	13 100.0%	8 16.5%	9 20.0%	14 31.0%	15 32.5%	46 100.0%	83
シンポニー	-	0 5.0%	4 38.4%	5 56.6%	10 100.0%	10 19.7%	12 22.5%	16 29.5%	15 28.3%	53 100.0%	92
リプル	17 26.6%	15 23.9%	17 28.1%	13 21.4%	62 100.0%	14 27.5%	12 23.8%	14 27.6%	11 21.1%	51 100.0%	44
ノイアート	13 23.9%	13 23.9%	17 31.6%	11 20.6%	54 100.0%	12 26.4%	11 24.2%	14 30.7%	8 18.7%	44 100.0%	43
ワクチン	70 24.4%	81 28.0%	94 32.7%	43 14.8%	288 100.0%	61 21.3%	65 22.6%	114 39.5%	48 16.6%	288 100.0%	279
ミールビック	42 43.6%	21 22.2%	12 12.3%	21 21.9%	95 100.0%	34 41.9%	21 25.6%	7 9.2%	19 23.3%	80 100.0%	37
インフルエンザ	0 △ 0.1%	23 26.0%	64 71.2%	3 3.0%	90 100.0%	0 △ 0.5%	16 20.5%	68 88.7%	△ 7 △ 8.7%	77 100.0%	81
ジェービックV	21 29.3%	28 39.3%	13 18.0%	10 13.4%	71 100.0%	18 37.4%	18 37.3%	6 11.7%	6 13.6%	48 100.0%	41
田辺製薬販売 取扱品(注1)	44 24.9%	38 22.0%	52 29.8%	41 23.3%	175 100.0%	48 25.5%	42 22.3%	55 29.2%	43 22.9%	190 100.0%	140
海外医療用 医薬品(注2)	47 25.3%	45 24.2%	47 25.5%	46 24.9%	185 100.0%	45 19.5%	56 24.0%	50 21.6%	82 35.0%	234 100.0%	211
ヘルベッサー	12 24.6%	11 22.5%	13 27.1%	13 25.7%	49 100.0%	11 19.3%	12 19.4%	11 19.1%	25 42.2%	59 100.0%	49
アルガトロバン (ノバスタン)	10 32.3%	7 21.1%	8 25.6%	6 21.0%	31 100.0%	7 24.8%	7 23.5%	5 17.2%	10 34.6%	29 100.0%	18
タナトリル	4 22.9%	5 28.2%	5 27.7%	4 21.3%	17 100.0%	5 21.9%	4 20.2%	4 20.6%	8 37.3%	21 100.0%	17
ワクチン	5 29.8%	5 29.1%	3 21.0%	3 20.0%	16 100.0%	3 15.2%	7 41.1%	6 34.7%	2 9.0%	18 100.0%	-
製造受託品(注3)	25 28.3%	23 26.9%	18 20.2%	21 24.6%	87 100.0%	17 25.3%	21 30.2%	13 18.8%	17 25.6%	68 100.0%	56
技術導出契約金等	14 15.0%	15 15.2%	21 21.9%	46 47.9%	96 100.0%	38 16.7%	36 15.9%	84 37.2%	69 30.3%	227 100.0%	293
一般用医薬品	14 26.4%	15 27.0%	15 27.3%	10 19.3%	54 100.0%	14 25.6%	15 27.5%	15 27.8%	10 19.1%	53 100.0%	52
医薬品事業合計	998 25.1%	957 24.1%	1,129 28.4%	892 22.4%	3,976 100.0%	1,019 24.6%	988 23.8%	1,182 28.5%	958 23.1%	4,147 100.0%	4,157

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注2) 2012年度より海外子会社の決算期を12月末から3月末に変更したため、2012年度は2012年1月から2013年3月までの15カ月決算となっております。

(注3) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について(2013年5月8日現在)

1. 国内開発状況

①新規化合物

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	開発段階	起源	備考
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	フェーズ 3	自社	
MP-214 (カリブラジン)	D3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	フェーズ 2b/3	ハンガリー: ゲデオン/ヒター	
MT-4666	α 7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー型認知症)	フェーズ 2	米:エンヴィヴォ	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (高血圧)	フェーズ 1	自社	
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	フェーズ 1	自社	

②効能追加

製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	開発段階	起源	備考
メインテート (ビソプロロール)	選択的 β 1遮断剤 (慢性心房細動)	申請中 (2012年9月)	スイス: メルクセローノ	
テネリア (テネリグリブチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病・追加併用)	申請中 (2013年2月)	自社	
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症*)	フェーズ 3	自社	
タリオン (ペボタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤 (小児・アレルギー性鼻炎)	フェーズ 3	日:宇部興産	
	(小児・アトピー性皮膚炎)	フェーズ 3		
テラピック (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (O型慢性肝炎[ジェノタイプ2])	フェーズ 3	米:ヴァーテックス	
	(O型慢性肝炎[ベガシス併用])	フェーズ 3		
	(O型慢性肝炎[フェロン併用])	フェーズ 3		
レミケード (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (難治性川崎病*)	フェーズ 3	米:ヤンセン・ バイオテック	
	(特殊型ベーチェット病*)	フェーズ 3		
	(小児・クローン病)	フェーズ 3		
	(小児・潰瘍性大腸炎)	フェーズ 3		
イムセラ (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	フェーズ 3	自社	ノバルティスファーマと共同開発 国際共同治験
	胆汁酸分泌制御 (2型糖尿病)	フェーズ 2	自社	
リン吸収阻害作用 (高リン血症)	フェーズ 1			

*希少疾病用医薬品指定

2. 海外開発状況

①新規化合物

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源
MP-424 (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎)	台湾	申請中 (2013年1月)	米:ヴァーテックス
		韓国	フェーズ 1	
MP-146	尿毒症毒素吸着剤 (慢性腎臓病)	米国、欧州	フェーズ 3	日:クレハ
MT-9938 (ナルフラフィン)	κ オピオイド受容体作動剤 (難治性そう痒症)	米国	フェーズ 2	日:東レ
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	欧州	フェーズ 2	自社
		米国	フェーズ 1	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州	フェーズ 2	自社
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	自社
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	遺伝子組換えヒト血清アルブミン (安定化剤)	米国	フェーズ 1	自社
MP-124	PARP阻害剤 (脳梗塞急性期)	米国、カナダ	フェーズ 1	自社
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤 (高血圧)	欧州	フェーズ 1	自社

3. 導出品の開発状況

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	導出先 (備考)
TA-1790 (アバナフィル)	PDE5阻害剤 (勃起不全)	欧州	申請中 (2012年3月)	米:ヴィーヴァス
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	欧州	申請中 (2012年6月)	米:ヤンセンファーマシューティカルズ
	(2型糖尿病・メトホルミンとの合剤)	米国	申請中 (2012年12月)	
	(2型糖尿病・メトホルミンとの合剤)	欧州	申請中 (2013年3月)	
	(肥満)	米国、欧州	フェーズ 2	
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	韓国	フェーズ 3	韓:ハンドクファーマシューティカルズ
FTY720 (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ 3	スイス:ノバルティス (日本は、当社とノバルティスファーマの共同開発)
T-0047 (フィラテグラスト)	細胞接着阻害剤[$\alpha 4 \beta 7 / \alpha 4 \beta 1$ 阻害剤] (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	英:グラクソ・スミスクライン
MKC-242	セロトニン1A受容体作動剤 (不眠症)	米国	フェーズ 2	米:メディシノバ
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	日:千寿製薬
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	仏:キレナック
TA-7906	PDE4阻害剤 (アトピー性皮膚炎)	日本	フェーズ 2	日:マルホ
MCC-847	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国	フェーズ 2	韓国:サマファーマ
sTU-199 (テナトプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (胃食道逆流症)	欧州	フェーズ 1	仏:ネグマ(シデム)
TT-138	$\beta 3$ 受容体作動剤 (頻尿/尿失禁)	米国	フェーズ 1	米:メディシノバ
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	フェーズ 1	日:協和発酵キリン
Wf-516	セロトニン取り込み阻害 / セロトニン1A受容体拮抗剤(うつ病)	欧州	フェーズ 1	米:ソンケイファーマシューティカルズ
Y-803	BRD阻害剤 (血液がん)	米国、欧州	フェーズ 1	スイス:オンコエシックス (治験コード:OTX015)

4. 2012年度第3四半期決算発表時点(2013年2月1日)からの変更点

①自社開発品

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2013年5月8日現在
オメプラゾン (オメプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎における除菌の補助)	日本	申請中 (2012年8月)	承認 (2013年2月)
グルトバ (アルテプララーゼ [遺伝子組換え])	血栓溶解剤 (虚血性脳血管障害急性期[発症後4.5時間以内])	日本	申請中 (2012年9月)	承認 (2013年2月)
テネリア (テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病・追加併用)	日本	フェーズ3	申請中 (2013年2月)
イムセラ (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験*	記載なし	フェーズ3
タリオン (ベボタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤 (小児・アトピー性皮膚炎)	日本	記載なし	フェーズ3
MP-424/テラピック (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎[ペガシス併用])	日本	記載なし	フェーズ3
	(C型慢性肝炎[フェロン併用])	日本	記載なし	フェーズ3
	(C型慢性肝炎)	韓国	記載なし	フェーズ1
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ1	フェーズ2
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州	フェーズ1	フェーズ2
MP-435	C5a受容体拮抗剤 (関節リウマチ)	日本	フェーズ2	開発中止
MT-7716	NOP受容体作動剤 (アルコール使用障害)	米国	フェーズ1	開発中止

②導出品

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2013年5月8日現在
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	米国	申請中 (2012年5月)	承認 (2013年3月)
	(2型糖尿病・メトホルミンとの合剤)	米国	記載なし	申請中 (2012年12月)
		欧州	記載なし	申請中 (2013年3月)
FTY720 (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験*	記載なし	フェーズ3
Y-803	BRD阻害剤 (血液がん)	米国、欧州	記載なし	フェーズ1

* 日本は当社とノバルティスファーマの共同開発。

5. 新製品開発状況補足資料(2013年5月8日現在)

① 国内 新規化合物

治験コード (一般名)	補足説明
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。2型糖尿病を対象にフェーズ3。
MP-214 (カリブラジン)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト作用を有する。ゲデオニヒター(ハンガリー)より導入。統合失調症を対象にフェーズ2b/3。
MT-4666	α 7ニコチン性アセチルコリン受容体(nAChR)作動剤。エンヴィヴォ(米)より導入。アルツハイマー型認知症を対象にフェーズ2。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。フェーズ1。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的拮抗剤。イムセラ/ジレニアの後継品としてフェーズ1。

② 国内 効能追加

製品名 (一般名)	補足説明
メインテート (ピソプロロール)	(慢性心房細動)選択的 β 1アンタゴニスト作用を有する。1990年に本態性高血圧症、狭心症及び心室性期外収縮の治療剤として発売。2011年に慢性心不全治療剤としての追加効能を取得。学会からの要望を受け、慢性心房細動に対する臨床試験を実施し、効能追加を申請中。
テネリア (テネリグリプチン)	DPP-4阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤として、2012年9月に発売。追加併用療法に関する効能一部変更について、申請中。
ラジカット (エダラボン)	(筋萎縮性側索硬化症[2005年6月、希少疾病用医薬品指定])フリーラジカル消去作用を有する。2001年に脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善薬として発売。フェーズ3。
タリオン (ベボタスチン)	2000年に成人のアレルギー性疾患治療剤として発売。 (小児・アレルギー性鼻炎)フェーズ3。 (小児・アトピー性皮膚炎)フェーズ3。
テラビック (テラプレビル)	2011年にC型慢性肝炎治療剤として発売。 (C型慢性肝炎[ジェノタイプ2])フェーズ3。 (C型慢性肝炎[ペガシス併用])フェーズ3。 (C型慢性肝炎[フェロン併用])フェーズ3。
レミケード (インフリキシマブ〔遺伝子組換え〕)	世界初の抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤。2002年にクローン病治療剤として発売。その後、関節リウマチ、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎の治療剤としての適応も受けている。 (難治性川崎病[2012年9月、希少疾病用医薬品指定])フェーズ3。 (特殊型ベーチェット病[2012年9月、希少疾病用医薬品指定])フェーズ3。 (小児・クローン病)フェーズ3。 (小児・潰瘍性大腸炎)フェーズ3。 (乾癬:用法・用量の変更[増量])フェーズ3。
イムセラ (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。国内ではノバルティスファーマと共同で開発し、2011年に多発性硬化症治療薬として発売。 (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)フェーズ3(国際共同治験)。日本ではノバルティスファーマとの共同開発。
コレバイン (コレステミド(JAN))	胆汁酸排泄促進剤。1999年に高コレステロール血症治療剤として発売。 (2型糖尿病)フェーズ2。 (高リン血症)フェーズ1。

③ 海外 新規化合物

治験コード (一般名)	補足説明
MP-424 (テラプレビル)	C型肝炎ウイルスのプロテアーゼNS3/4A阻害による経口投与可能なC型慢性肝疾患治療剤。ヴァーテックス(米)より導入。日本では、製品名テラピックで販売中。
MP-146	2006年11月にクレハから導入した経口の球状吸着炭。慢性腎臓病患者を対象に欧米でフェーズ3。日本では製品名クレメジンで1991年から三共(現、第一三共)が販売していたが、2011年4月より当社が販売を継承。
MT-9938 (ナルフラフィン)	κ オピオイド受容体作動剤。東レ(日本)より導入。難治性そう痒症を予定適応症に、米国でフェーズ2。
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP-4阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。米国でフェーズ1、欧州でフェーズ2。日本では、製品名テネリアで2012年9月に販売開始。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。欧州で糖尿病性腎症を対象にフェーズ2。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的拮抗剤。イムセラ/ジレニアの後継品として開発中。(多発性硬化症)欧州でフェーズ2。
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	遺伝子組換えヒト血清アルブミン。米国で安定化剤としてフェーズ1。
MP-124	PARP酵素阻害により神経細胞の傷害保護作用を示す。米国・カナダでフェーズ1。
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤。欧州でフェーズ1。

④ 導出品

治験コード (一般名)	補足説明
TA-1790 (アパナフィル)	即効性で、副作用の少ない勃起障害治療剤として創製。ヴィーヴァスが欧州で申請中。
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害薬。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。ヤンセンファーマシューティカルズにより2型糖尿病を対象に欧州で2012年6月に申請。メトホルミンとの合剤を2012年12月に米国で、2013年3月に欧州で申請。米国で製品名 INVOKANA TM として販売中。肥満を対象にフェーズ2終了。
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP-4阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療薬。韓国でバンドクファーマシューティカルズがフェーズ3。
FTY720 (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。多発性硬化症治療薬として日本では、製品名イムセラで販売中。ノバルティスが日欧米で製品名ジレニアとして販売中。(慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)国際共同治験でフェーズ3。日本では当社とノバルティスファーマが共同開発。
T-0047 (フィラテグラスト)	白血球が炎症部位に浸潤する過程を抑える細胞接着阻害剤。グラクソ・スミスクラインが欧州ほかでフェーズ2。
MKC-242	セロトニン1A受容体の作動薬で、依存性が生じる可能性が低く即効性が期待される不安症やうつ病などの精神疾患治療剤。米国メディシノバが不眠症を対象にフェーズ2。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK(Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。千寿製薬が国内でフェーズ2。
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤。キレナイック(仏)がフェーズ2。
TA-7906	PDE4阻害剤。アトピー性皮膚炎を予定適応症に、マルホが国内でフェーズ2。
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤。喘息を予定適応症に、サマファーマが韓国でフェーズ2。
sTU-199 (テナトプラゾール)	国内で開発していたTU-199の光学異性体で、ネグマ(仏)へ導出。欧米で実施されたフェーズ1のPK/PD試験の結果、長い血中濃度半減期より1日1回投与で夜間の優れた胃酸コントロールが確認され、早期の症状改善や治癒が期待されている。子会社のシテムが欧州でフェーズ1。
TT-138	β 3受容体作動作用を持つ頻尿・尿失禁治療剤。メディシノバが米国でフェーズ1。
MT-4580	カルシウム受容体作動剤。二次性副甲状腺機能亢進症を予定適応症に、協和発酵キリンが日本でフェーズ1。
Wf-516	セロトニン取り込み阻害 / セロトニン1A受容体拮抗剤。うつ病を予定適応症に、ソクセイファーマシューティカルズが欧州でフェーズ1。
Y-803	BRD-ヒストン結合阻害剤。血液がんを予定適応症に、オンコエシックスが米国、欧州でフェーズ1。

7 その他

1. 関係会社

① 関係会社数

	2012年度末	2011年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	28	28	-	
非連結子会社数	1	3	△ 2	減少)長生堂製薬(株)、ホシエヌ製薬(株)
関連会社数	3	3	-	
合計	32	34	△ 2	

② 連結子会社一覧

(2013年3月31日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	(株)ベネシス	100	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
2	田辺三菱製薬工場(株)	1,130	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
3	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100,000,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
4	三菱製薬(広州)有限公司	US\$23,500,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
5	天津田辺製薬有限公司	US\$12,000,000	66.7 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
6	吉富薬品(株)	385	100.0 (—)	3月末	医薬品の学術情報伝達
7	MPロジスティクス(株)	95	65.0 (—)	3月末	物流・倉庫業
8	(株)バイファ	100	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
9	田辺製薬吉城工場(株)	400	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
10	田辺製薬販売(株)	169	100.0 (—)	3月末	ジェネリック医薬品等の販売
11	(株)田辺アールアンドディー・サービス	44	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発支援サービス
12	田辺総合サービス(株)	90	100.0 (—)	3月末	不動産の管理等
13	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	US\$100	65.0 (—)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
14	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	US\$166	100.0 (—)	3月末	米国グループ会社の経営管理
15	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
16	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A.	US\$3,000,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
17	タナベ U.S.A.	US\$1,400,000	100.0 (100.0)	3月末	化成品等の販売
18	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
19	三菱製薬研発(北京)有限公司	US\$1,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
20	広東田辺医薬有限公司	CNY 7,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の販売
21	台湾田辺製薬股份有限公司	NT\$90,000,000	65.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
22	台田薬品股份有限公司	NT\$20,000,000	65.0 (—)	3月末	医薬品の販売
23	タナベ インドネシア	US\$2,500,000	99.6 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
24	ミツビシ ファーマ ヨーロッパ	£4,632,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発
25	ミツビシ ファーマ ドイツ	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
26	タナベ ヨーロッパ	EUR 260,330	100.0 (—)	3月末	化成品等の販売

(注)上記以外に清算手続中の連結子会社が2社あります。

③ 持分法適用関連会社一覧

(2013年3月31日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	(株)エーピーアイ コーポレーション	4,000	47.7 (—)	3月末	医薬品原体等の製造・販売
2	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1,600,000	50.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売

2. 株式の状況

① 発行済株式数

	2013年3月末	2012年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	424,977	423,532
期末発行済株式数	560,992,939	560,994,384
期中平均自己株式数	423,959	364,350
期中平均株式数	560,993,957	561,053,566

② 大株主の状況

順位	株主名	2013年3月末		2012年3月末		
		持株数 千株	持株比率	順位	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	1	316,320	56.34%
2	日本トラスティ・サービス信託銀行	31,890	5.68%	2	32,566	5.80%
3	日本マスタートラスト信託銀行	26,640	4.75%	3	28,150	5.01%
4	日本生命保険	15,116	2.69%	4	15,137	2.70%
5	ニプロ	7,642	1.36%	5	7,642	1.36%
6	三菱東京UFJ銀行	7,254	1.29%	6	7,254	1.29%
7	ジェーピー モルガン チェース バンク 385147	7,100	1.26%	7	7,100	1.26%
8	田辺三菱製薬従業員持株会	4,747	0.85%	8	4,423	0.79%
9	ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	4,583	0.82%	9	4,297	0.77%
10	東京海上日動火災保険	4,175	0.74%	10	4,175	0.74%

③ 所有者別株式数分布状況

	2013年3月末			2012年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	81	104,341	18.59%	64	106,350	18.95%
外国法人等	388	86,473	15.41%	375	82,524	14.70%
個人・その他(注)	16,331	29,397	5.24%	13,850	27,518	4.90%
その他の法人	286	339,197	60.43%	282	342,629	61.04%
金融商品取引業者	44	1,900	0.34%	57	2,285	0.41%
合計	17,130	561,311	100.00%	14,628	561,308	100.00%
単元未満株式の状況	-	106	-	-	109	-

* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2013年3月末424千株、2012年3月末423千株)を含んでおります。

④ 配当金/株価推移

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度予想
1株当たり年間配当金(円)	28	28	28	35	40	40
配当性向(%)	59.2	51.9	41.6	50.3	53.6	51.0
(のれん償却前)	(43.0)	(39.0)	(32.9)	(40.0)	(43.2)	(41.5)
期末株価(円)	971	1,320	1,350	1,161	1,445	-
株式時価総額(億円)	5,451	7,411	7,579	6,518	8,112	-

参考

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤(関節リウマチ、クローン病、ペーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎の治療剤)
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、乾癬、ペーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2009年7月に関節リウマチにおける用法・用量の変更が、2011年8月にクローン病における用法・用量の変更がそれぞれ承認された。2012年4月より、4回目の投与からは安全性に問題がなければ、従来の2時間よりも短い時間で点滴することが可能となった(投与量により点滴時間は異なるが、平均速度が1時間あたり5mg/kgを超えない投与速度までの短縮が可能)。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売した。</p> <p>オリジン:宇部興産</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 β 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈治療剤)
<p>世界100カ国以上で使用されている代表的なβ1遮断剤。極めて高いβ1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともにエビデンスに基づいた心保護効果を有する。2011年5月に「慢性心不全」の効能を追加取得した。現在「慢性心房細動」の効能追加に向けて申請中である。</p> <p>オリジン:(スイス)メルクセローノ</p>			
ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカルスカベンジャー(脳保護剤)
<p>我が国で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカルスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。</p>			
アンプラーグ	1993年10月発売	薬効	5-HT2ブロッカー(抗血小板剤)
<p>閉塞性動脈硬化症(ASO)など慢性動脈閉塞症に対する治療薬(経口抗血小板薬)である。セロトニンにより増強される血小板凝集、血管収縮、血管平滑筋細胞増殖を抑制することにより慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状を改善する。特に側副血行路の血流を改善する。</p>			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
<p>本剤の主成分ウルソデオキシコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効能を持つ。</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。</p> <p>オリジン:製造販売元:クレハ</p>			
ヴェノグロブリンH	1992年1月発売	薬効	血漿分画製剤(液状・静注用免疫グロブリン製剤)
<p>国内の献血血液を原料として製造された人免疫グロブリン製剤。重症感染症(抗生物質との併用)や川崎病の急性期などに使用される。また、2010年10月、「多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限り)」、2011年2月、「慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多薬性運動ニューロパチーを含む)の筋力低下の改善」、同年9月、「全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏功しない場合に限り)」の効能追加に係る承認を取得。全身型重症筋無力症の治療においては、新たな選択肢として患者さんのQOL向上に貢献できるものと期待している。</p>			
デパス	1984年3月発売	薬効	精神安定剤
<p>国内で最も汎用されている抗不安薬。強力な抗不安作用とともに、優れた鎮静・催眠作用、筋緊張緩和作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。</p>			

テラビック	2011年11月発売	薬効	抗ウイルス剤
<p>C型肝炎ウイルス(HCV)の複製に関与するNS3-4Aセリンプロテアーゼを阻害することにより、HCVの増殖を抑制するファースト・イン・クラスの経口C型肝炎肝炎治療薬である。ジェノタイプ1のC型肝炎患者に対して、本剤を含む3剤併用療法(テラビック+ペグインターフェロン+リバビリン)は、従来療法と比較し治療効果の向上や治療期間の短縮が認められた。また、従来の治療で効果が得られなかった患者さんに、新たな治療機会の提供が期待される。</p> <p>オリジン:(米)ヴァーテックス</p>			
ヘルベッサー	1974年2月発売	薬効	カルシウム拮抗剤(狭心症・高血圧症治療剤)
<p>世界で広く使用されている代表的なカルシウム拮抗剤。降圧作用に加え、心拍数を抑えて心臓の負担を減らすとともに、冠血管を拡張し冠血流量を増加させる。心臓保護効果を有する。</p>			
タナトリアル	1993年12月発売	薬効	アンジオテンシン変換選択性阻害剤(高血圧症治療剤)
<p>確実な血圧降下作用および高い臓器保護作用を有しながら、この種の薬剤に一般的な副作用である空咳の発生頻度が少ない。2002年1月には日本で初めて1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症への効能追加が承認された。</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトニントランスポーターへの選択性が高いSSRIで、世界96の国と地域で使用されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。</p> <p>オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬</p>			
シンボニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、簡便な4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)であり、現在ヤンセンファーマにて潰瘍性大腸炎に対する臨床試験を実施中である。</p> <p>(ヤンセンファーマとの共同販売)</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
リプル	1988年11月発売	薬効	プロスタグランジンE1製剤
<p>世界初の静注用プロスタグランジンE1のDDS(ドラッグ・デリバリー・システム)製剤。血管に直接作用し拡張させることにより慢性動脈閉塞症、糖尿病における皮膚潰瘍等の末梢循環障害を改善する。DDS化によりPGE1の治療上の有用性を最大に引き出し、投与時のデメリットを最小化することに成功した。</p>			
ノイアート	1987年6月発売	薬効	血漿分画製剤(血液凝固阻止剤)
<p>国内の献血血液を原料として製造された人アンチトロンビンIII製剤。人アンチトロンビンIIIを高純度に含有するDIC治療剤である。トロンビンをはじめとするセリンプロテアーゼ活性を阻害することにより強力な抗凝固作用を発揮する。</p>			
ミールビック	2005年12月発売	薬効	麻しんおよび風しんの予防
<p>麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。1回の接種で麻しんと風しんの両方の免疫を獲得できることから、被接種者(保護者)や医療関係者の負担軽減、麻しんおよび風しんの予防接種率向上に寄与している。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
ジェービックV	2009年6月発売	薬効	日本脳炎の予防
<p>製造過程におけるウイルスを増殖させる宿主として、Vero細胞を使用した、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。本剤は製造過程でマウス脳を使用しないため、副反応(ADEM:急性散在性脳脊髄炎)軽減が期待されている。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
テトラビック	2012年10月発売	薬効	百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防
<p>既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			

ニュースリリース

2012年10月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<http://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2012年 10月1日	物流業務の全面的な外部委託に関するお知らせ
10月10日	慢性腎不全用剤の海外における第3相臨床試験について
10月19日	長生堂製薬株式会社との資本提携解消について
10月26日	沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ(セービン株)混合ワクチン「テトラビック皮下注シリンジ」新発売のお知らせ
2013年 1月29日	欧州における高リン血症治療薬「BindRen」の承認取得について
1月31日	経皮吸収型鎮痛消炎プラスター剤「ヤクバンテープ20mg、同40mg、同60mg」非ステロイド性鎮痛・抗炎症貼付剤「ステイバンパップ40mg」経皮吸収型鎮痛消炎貼付剤「フルルバンパップ40mg」販売委託契約終了に関するお知らせ
2月1日	多発性硬化症治療のための「イムセラ」服薬アドヒアランスプログラム「イムセラヒルズ」サービス開始のお知らせ
2月21日	ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎におけるプロトンポンプ阻害剤を含む3剤併用によるヘリコバクター・ピロリ除菌療法の適応追加承認取得について
2月26日	2型糖尿病治療剤「テネリア錠20mg」追加併用療法に関する効能一部変更承認申請について
2月28日	血栓溶解剤グルトパの虚血性脳血管障害発症後4.5時間以内まで使用可能とする承認取得について
3月15日	アスパラギン酸カリウム・マグネシウム配合の指定医薬部外品ドリンク剤「アスパラドリンクα」新発売のお知らせ
3月29日	名古屋大学における産学協同研究講座 開設のお知らせ
4月1日	ヤンセン・ファーマシューティカルズ社による米国におけるSGLT2阻害剤カナグリフロジン「TA-7284」の承認取得について
4月1日	タナベ ヨーロッパの株式譲渡に関するお知らせ
4月3日	高リン血症治療薬「BindRen」ドイツ、オーストリアにおける販売開始に関するお知らせ